

様式第2号(第7条関係)

会議の開催結果

1 会議の名称	令和4年度第2回 さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会
2 会議の開催日時	令和5年1月24日(火曜日) 午後2時00分～午後4時00分
3 会議の開催場所	さいたま市大宮盆栽美術館 講座室
4 出席者名	小島委員長、大和田副委員長、砂生委員、高嶋委員、 谷中委員
5 欠席者名	池田委員、島田委員、杉山委員、
6 議題及び公開又は非公開の別	議事 (1) 令和5年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について (2) 学校連携事業について (3) ミュージアム・サポーターの発足について  (公開又は非公開の別) 公開
7 非公開の理由	—
8 傍聴者の数	0名
9 審議した内容	(1) 令和5年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について (2) 学校連携事業について (3) ミュージアム・サポーターの発足について
10 問合せ先	スポーツ文化局 文化部 大宮盆栽美術館 電話番号 048-780-2091
11 その他	

## 令和5年度 大宮盆栽美術館展覧会事業等について

### 1 展覧会事業

#### (1) 通常展 2回

- ・ 季節感を重視し、収蔵品の盆栽、盆器、水石を主に紹介する展示  
季節の展示「盆栽展〈四季〉」
- ・ 盆栽及び大宮盆栽村の歴史と文化を紹介するパネル展示及び収蔵資料展示  
歴史と文化「盆栽クロニクル—年代記—」

#### (2) 企画展 6回

- ・ 季節感を念頭に、当館所蔵品には少ない樹種等の特集展示  
「さつき盆栽展」
- ・ 盆栽と関連する水石、盆石等の縮景表現に関する特集展示  
「水石展」、「盆石展」(仮称)
- ・ 盆栽関連団体との共催展  
「第32回作家展(日本盆栽作家協会)」
- ・ 子ども向け展示(夏季、冬季)  
「夏休み子どもぼんさい美術館」、「子どもたちに伝えたい さいたまの盆栽」

#### (3) 特別展 1回

盆栽文化に関するテーマを設け、主に外部団体等からの借用による大規模な展覧会  
「煎茶と盆栽～「盆栽」の夜明け」(仮称)

江戸時代中期以降、上方を中心に、中国の文人文化に範をとった日本の文人たちの間で煎茶趣味が流行した。江戸時代後期に至り、文人によって営まれた煎茶会の場に盆栽は取り入れられ、それまで「鉢植え」と称された盆栽文化は、新たに「盆栽」としての夜明けを迎える。ここでは、①雅称「盆栽」の使用、②現在の盆器の典型となる「泥物」鉢の使用、③文人画の樹木を模した「文人木」樹形の考案、④座敷における盆栽飾りが見られ、現在の盆栽文化に直結する要素が煎茶趣味・文人文化の中で形成された。本展では、江戸時代後期から明治時代に流行する煎茶会に関連する図録や文人画家の絵画、関連資料を通して、文人文化の洗礼を受けて夜明けを迎える盆栽の画期を概観する。

## 通常展、企画展、特別展一覧

展覧会名	期間	G	企
(1) 通常展			
季節の展示「盆栽展〈四季〉」	38週程度	○	
歴史と文化「盆栽クロニクルー年代記ー」 会期①・②：所蔵品展、大宮盆栽村100周年資料調査展示	①4月22日～7月5日 ②9月16日～11月26日		○
(2) 企画展			
「さつき盆栽展」	5月26日～6月4日	○	
「水石展」(仮称)	7月21日～8月30日	○	
「夏休み子どもぼんさい美術館」	7月22日～8月30日		○
「盆石展」(仮称)	9月8日～9月20日	○	
「第32回 作家展(日本盆栽作家協会)」(共催)	10月27日～11月15日	○	
「子どもたちに伝えたい さいたまの盆栽」	12月9日～1月24日		○
(3) 特別展			
「煎茶と盆栽～「盆栽」の夜明け」(仮称)	2月10日～3月20日	一部	○

※G：コレクションギャラリー／企：企画展示室

## 2 普及事業

## (1) 定例講座

- ・盆栽ワークショップ 第3日曜・1回 (定員8人)
- ・子どもワークショップ 第3日曜・1回 (定員8組)
- ・盆栽実技 第4土曜・1回 (定員24人)
- ・スライドトーク 第1日曜、第3土曜・各1回 (記録映像配信)

## (2) 特別講座等

- ・GW庭園ガイド 5月3日～5日、午前・午後(ボランティア)
- ・夏休みワークショップ 7月～8月、全10回程度 (定員各8人)
- ・盆栽植え替えデー 10月、3月(各2回、定員各8人)
- ・出張講座、講演 随時

**(3) 学校連携【※議事（2）資料2】**

- ・校外学習の受け入れ（バス借上げ事業は、令和5年1月6日募集開始）
- ・市立小学校への出張授業
- ・未来くるワーク、教員研修、博物館見学実習の受入れ

**(4) ボランティア育成、運営**

※令和5年4月に、ボランティアとさいたま国際盆栽アカデミー中級修了者の会を統合し、新ボランティア組織を発足。**【※議事（3）資料3】**

- ・登録者 ※継続意向調査及び若干名を募集。

ボランティア 28人（令和4年度）

中級修了者の会 50人（令和4年度）

- ・活動内容

①校外学習における児童への解説、誘導

②庭園ガイド

③普及事業の指導補助

④さいたま国際盆栽アカデミーの補助

⑤資料整理

**3 その他****(1) イベント事業**

- ・「ゆかた de 盆美」

期間 7月中旬～8月下旬

内容 ゆかた、甚平、和服着用で来館すると観覧料無料とするイベント。

**(2) 館外イベント出展事業（アウトリーチ活動）****4 調査研究活動****(1) 大宮盆栽村の開村100周年記念事業（R7年度）に向けた調査研究**

①村の歴史と文化について（資料調査、関係者ヒアリング、展示計画）

- ・九霞園資料調査

R4年度に所蔵資料の悉皆調査を概ね終了し、目録を作成（継続）。

8mmフィルムのデジタルデータ化を実施（新規）。

- ・雑誌『盆栽』（大正10年～昭和42年〔1921～1967〕）における大宮盆栽村関係記事の調査（継続）

- ・80周年記念誌作成関係資料の調査（新規）

- ・盆栽町土地台帳の調査（新規）
- ・盆栽園主及び盆栽村関係者へのヒアリング（継続）
- ・関係資料の所在調査（継続）
- ・展示計画の作成

②普及プログラム、学校向けプログラムの検討・計画

(2) 令和5年度特別展の開催に向けた調査研究

- ・関係資料の調査研究及び煎茶史研究者へのヒアリング、講師招聘
- ・普及プログラムの検討・計画

## 5 さいたま国際盆栽アカデミー

(1) 日本人向け初級コース

講座数	全6回 内訳：実技4回、講義2回
開催時期	令和5年6月～令和6年3月
クラス数	2クラス
定員	12名（1クラス6名）
実施方法	講義：対面で実施 実技：感染防止対策の上で、対面で実施
その他	緊急事態宣言等により対面での実施が困難となった場合は、オンラインに切り替えて実施する。

(2) 日本人向け中級コース

講座数	全8回 内訳：実技5回、講義3回
開催時期	令和5年9月～令和6年3月
クラス数	2クラス
定員	12名（1クラス6名）
実施方法	講義：対面で実施 実技：感染防止対策の上で、対面で実施
その他	緊急事態宣言等により対面での実施が困難となった場合は、オンラインに切り替えて実施する。

(3) 日本人向け上級コース

講座数	全10回 内訳：実技7回、講義3回
開催時期	令和5年6月～令和6年3月

クラス数	1クラス
定員	6名
実施方法	講義：対面で実施
	実技：感染防止対策の上で、対面で実施
その他	緊急事態宣言等により対面での実施が困難となった場合は、オンラインに切り替えて実施する。

## (4) 外国人向け中級コース

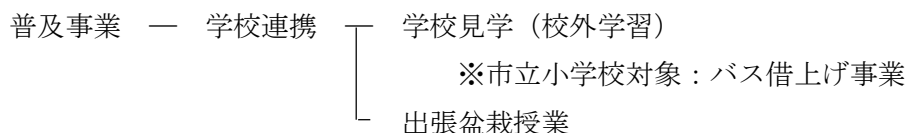
内容	大宮盆栽村盆栽園による講義又は実技
講座数	各1回 ※1回2時間程度
開催時期	令和5年9月～令和6年3月 ※事前予約制
開催数	2回（1回1組）
定員	2組（1組25名未満）
実施方法	感染防止対策の上、対面で実施
その他	感染拡大等により実施が困難となった場合は、中止する。

## (5) 外国人向け上級コース

内容	大宮盆栽美術館における培養管理の現地研修
開催時期	相談に応じる
期間	相談に応じる
対象	姉妹館提携先職員
定員	1～2名
実施方法	感染防止対策の上、対面で実施
その他	感染拡大等により実施が困難となった場合は、中止する。

## 学校連携事業について

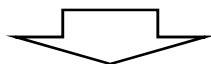
### (1) 位置づけ



### (2) 学校見学におけるプログラムの見直し

当該事業を利用した教員から、校外学習の目的（教科）に盆栽を当てはめることが難しいとの意見が複数あった。このため、教員や指導 1 課へのヒアリングや他館事例の調査を実施し、学習指導要領に則したプログラムを開発することとした。

令和 4 年度学校見学	
実施校クラス数	22 校 65 クラス
来館者数	1,750 人 ※引率含む
バス借上げ台数	17 校 41 台
内容	館内への入場はクラス単位の <u>入れ替え制</u> （待機クラスはバス内学習） 以下の課題を意識して、盆栽庭園の見学、班単位でギャラリー見学 ①盆栽って何？ ②盆栽を見てみよう（盆栽の正しい見方） ③好きな盆栽を見つけよう 主に、盆栽について学ぶ事を意識した内容



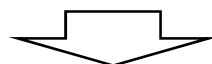
令和 5 年度学校見学	
対象	さいたま市立小学校（優先） 実施可能日であれば、さいたま市立小学校以外の小学校も可能
バス借上げ台数	40 台程度 ※市立小学校が対象
募集	令和 5 年 1 月 6 日から 1 月 31 日まで ※応募多数の場合は抽選制
事業概要	校外学習で大宮盆栽美術館に来館した児童が、美術館の施設についての説明（小学 3 年生社会科）や、 <u>展示品の鑑賞、盆栽に触れたり作業をしたりする体験</u> を通して、盆栽や大宮盆栽村、大宮盆栽美術館についての理解・興味・関心を深め、美術館を利用できるようになるプログラムを提供する。
実施内容	以下の内容を、クラス単位で 15 分毎に <u>ローテーション</u> して行う。 ①美術館の施設解説（小学 3 年生社会科対象） ※他学年・他教科の場合は教員と相談の上で調整。

②盆栽見学 ③盆栽体験（水やり、3種類の松の違い） ※見学の注意事項は、教師が児童に事前学習にて行う。
---

### （3）出張盆栽授業のプログラムの見直し

例年、応募校が固定化しており、普及の観点から複数校で実施できる内容を検討する必要があった。このため、教員や指導1課へのヒアリングや他館事例の調査を実施し、社会科において、伝統文化や伝統産業をテーマにしたゲストティーチャーの希望が多かったため、プログラムの見直しを行った。

令和4年度出張盆栽授業	
実施校	2校 ・北教育相談室・教育支援センター「はばたき」 人    数：11人 実 施 日：11月18日（剪定、植え替え） 展示期間：11月25日～11月30日 ・城南小学校 人    数：61人 実 施 日：12月5日（剪定） 2月27日（植え替え） ※実施予定 展示期間：調整中
実施内容	盆栽の基本、大宮盆栽村の歴史についての講義 真柏の剪定、植え替え作業



令和5年度出張盆栽授業	
対象	<u>さいたま市立小学校（9校程度）</u> 応募多数の場合は、地域学習の観点から、さいたま市北区の小学校を優先
募集	随時（先着順）
事業概要	日々盆栽に触れ、盆栽に関する仕事に携わっている講師を招き、 <u>デモンストラーションや、児童から講師へのインタビュー</u> をとおして、盆栽や盆栽に係る仕事、盆栽に携わる人の思いに触れ、さいたま市が誇る地域文化及び伝統文化としての盆栽について学習する機会を提供する。
実施内容	1クラスにつき1コマ（45分）で、 <u>児童から講師へ盆栽の仕事についてインタビュー</u> を行う。 ※インタビューの質問事項は、事前学習にて児童が考える。



## ミュージアム・サポーターの発足について

### 1 大宮盆栽美術館ミュージアム・サポーターの発足

大宮盆栽美術館において、盆栽文化の普及、及び発展に資する活動を行うことを目的とし、ボランティア活動を、個人の希望に沿った専門的な活動にすることで、やりがい有助長し、美術館運営のサポートをしていただきます。

現在、館内に並立する2つのボランティア組織(「大宮盆栽美術館ボランティア」及び「さいたま国際盆栽アカデミー」中級コース修了者による「(仮称)中級修了者の会」)を統合し、令和5年4月から新たな組織として「さいたま市大宮盆栽美術館ミュージアム・サポーター」を発足する。

#### 【現在】

組織名	ボランティア	中級修了者の会
発足	平成25年4月	平成31年2月22日
登録期間	1年(再登録可)	
交通費・謝礼	無償	
人数(重複あり)	28人	50人
参加要件	年10回以上参加 等	中級コース修了
選考	1次選考(書類審査) 2次選考(面接審査)	無し(賛同者のみ)
活動内容	・ガイド、学校見学等の来館者対応の補助 ・ワークショップ等の講座の補助	・盆栽アカデミーの初級・中級コースの実技補助 ・美術館外での普及事業



#### 【令和5年4月以降】

組織名	大宮盆栽美術館ミュージアム・サポーター	
発足	令和5年4月	
登録期間	1年(再登録可)	
交通費・謝礼	無償	
定員	50名程度	
参加要件	なし(ただし、アカデミー事業のみ中級コース修了)	
選考	書類審査 (必要に応じて面接)	

活動内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ガイド事業(来館者へ盆栽美術館や展示品等についての解説)</li><li>・ワークショップ事業 (資料作成【新規】及び当日の準備・片付け・司会進行【新規】・講師補助)</li><li>・アカデミー事業(盆栽アカデミーの初級・中級コースの実技補助、PR活動)</li><li>・資料整理事業(一般図書などの資料整理・目録作成)【新規】</li><li>・小学校見学事業(小学生の鑑賞補助・解説・体験コーナー補助)</li></ul> ※希望する事業で活動(複数選択可)
------	--